

有明海実施設計調査

～浚渫土砂の活用による海域環境改善のための調査～

【目的】

有明海においては、近年、水質の悪化などによる様々な環境問題が生じており、総合的な海域環境の保全・再生が求められている。

特に、水質浄化機能及び生物生息・生産機能を回復するため、消失した天然干潟と同様の特性を持つ、泥質干潟の創出が必要とされているが、砂質干潟とは異なり、このような泥質干潟の再生技術は技術的知見がない状況である。

このため有明海の港湾事業から発生する泥質の浚渫土を活用し、環境と調和した効果的な干潟造成技術の確立を目指すものである。

【事業概要】

広大な泥質干潟が分布するものの干潟の消失も顕著な有明海灣奥部海域において、浚渫土を活用した泥質干潟の現地実験を行い、泥質干潟造成における計画・設計・施工・維持管理等に関する基本的技術確立するものである。

- ◆ 事業期間 : 平成17年～19年度
- ◆ 事業内容 : 泥質干潟造成実証実験、モニタリング、技術・効果検討調査
- ◆ 実施箇所 : 三池港（福岡県）、大浦港（佐賀県）
- ◆ 平成17年度 : 1.2億円

